

「保健医療科学」  
第64巻 第3号 予告

平成26年度国立保健医療科学院年報

序  
概要  
養成訓練  
活動報告／研究業績目録  
事業報告  
その他

## 編集後記

水はあらゆる生命を育み、実りを結ぶ。人間の体のほとんどは水でできていて、成人の体の約60%～70%を水分が占める。体内の水分の4～5%が失われると脱水症状が現れ、10%以上失われると、死に至ることもある。人間にとって水の摂取は、欠かすことができないとても大切なものである。また、水は生態系を保ち、環境を清潔に保つために大きな役割を果たしている。

本特集では、このように人間にとって大切な水を災害時にも確保して供給したり、日頃から備えたりする重要性や、水が汚染された場合に発生する健康被害の実態や予防策について言及している。

蛇口を捻れば安全な水が豊富に手に入る日常が災害時には一変し、水が十分に供給されない生活では、脱水症や感染症が発生し重大な健康被害を引き起こす。特に高齢者や透析患者においては死に至る場合もある。これまでの災害や長期断水の状況や対応を振り返っていく中から、今後の対策について学ぶべきことは数多くある。

この特集を通して、清潔で安全な水を飲んだり、日々の生活の営み必要な水を手に入れたりすることができるのは、水を守ってくれている多くの方々のたゆまぬ努力の賜であると改めて感じた。水管理に関わる方々だけでなく、公衆衛生に関わる方々や災害や危機管理に関心のある方々にも一読願いたい。

(統括研究官 成木弘子)